

とっておきの

奈良

Vol. 32

奈良市法華寺町 地区

名刹あり美仏あり ゆつたり静かに 歴史の宝と出会う

光明皇后ゆかりの門跡寺院、法華寺の隣は写経発祥の古刹・海龍王寺。その先には緑豊かな古墳群が連なり、遙か古代の栄華が大和路の情景に溶け込みます。

近鉄新大宮駅から歩いて15分。交通の便の良さに関わらず、ふと気づけば驚くほどの静寂の中で、歴史散策できるのが法華寺町界隈です。奈良時代の法華寺領からなる法華寺町は名所旧跡の宝庫。全国の仏像ファン憧れの美仏を拝み、古社寺を次々と巡っても1万歩以内に収まるといふ密度の濃さです。

佐保川沿いから佐保路(東大寺転吉門から法華寺へと至る東西の道)をたどれ



- ① 法華寺
- ② 海龍王寺
- ③ 宇奈多理坐高御魂神社
- ④ 東院庭園
- ⑤ 阿弥陀浄土院跡
- ⑥ 磐之媛命平城坂上陵
- ⑦ 小奈辺古墳
- ⑧ 宇和奈辺古墳
- ⑨ 芸亭
- ⑩ 春日神社
- ⑪ 虫籠窓のある家

「法華寺」

光明皇后創建の総国分尼寺。皇后の姿をあらわしたものと伝えられる、国宝の本尊「十一面観音菩薩立像」は美仏で有名。3月1日～18日まで古代ひな人形展を開催。



「海龍王寺」

法華寺の隣、同じく光明皇后創建の古刹。山門をくぐると、奈良時代の行まいが残る心地よい空間に迎えられる。西金堂の五重小塔は国宝。

ば、不退寺、海龍王寺、法華寺と名刹が並び、うららかな春の日和の散策にもってこい。これらの寺を目指す「佐保路の三観音寺巡り」は人気のルートです。

「この町の豊かな魅力を発信したい」と地元有志による「法華寺むらづくりプロジェクト」では、手作りマップを作成し、マップ片手のウォークラリーも開催。足に優しい平坦な道は、子どももお年寄りも無理なく歩けます。歴史の宝に出会いながらの散策は、学びあり、楽しさあり。その昔、光明皇后が人々を慈愛の精神で包んだように、この地を歩く人の心をやんわり癒してくれるようです。



「法華寺むらづくりプロジェクト」

「法華寺町は、地元の人にもあまり知られていませんが、3つも国宝がある歴史の宝庫。この地の歴史を共に学び、楽しみ、地元の人に誇りをもってもらいたい」と2年前に会を発足させました。塚本武利会長のもと、創設から関わった辰巳裕さん、鈴木末一さんなど15人の会員で活動中。手作りマップは会員の上級嘉草さんの挿絵スケッチが好評です。

写真は、1月22日に開かれた「ほっけじむらウォークラリー」。子どもからお年寄りまで100人を超す参加者が「お宝巡り」を楽しみました。

法華寺むらづくりプロジェクト ☎0742-33-7622

「奈良時代の法華寺領」



平城宮の東隣、平城宮内の優美な東院庭園から東に広がる広大な「法華寺領」が現在の法華寺町。この地に立って、1300年前に思いをはせると、昔の栄華が感じられます。

